

## 2. [雲南市立病院の建設について]

掛合町会場（掛合総合センター）

**Q 1：市立病院の待ち時間について、市立病院の整形外科に通院しているが、初診時の待ち時間が長く、3～4時間はいつもかかる。このことについて、改善を求める意見は出ていないか。対策はどうか伺いたい。**

A：患者から毎日苦情を受けている。現在3人の医師で午前中の外来80～100人を診察することがやっとである。更に、その間に重症の入院患者の治療を行うため、外来がストップしてしまう。言い訳となるが医者数が絶対的に足りない。平成15年に35人いた医師は、平成22年には半分の17人になったが、半分の医師でほとんど変わらない数の入院患者を診療してきた。

病院であるが故、重症患者である入院患者に集中しなければならない現実があるが、こうした流れのなか、医師が増えない。医師には診療を急ぐように指導しているが、急ぐと診療が雑になり見落としもおこり、ジレンマに陥っている。

経営について、60数億円の借金を医師が少ないなか返せるのかとの疑問があると思うが、病床稼働率は90%を維持しており、内部留保が2年間で3億5千万円あり、今までの仕事ができれば返せると考える。

明るい見通しとして、地方から医師の流出が止まりだした。また、島根大学医学部の地域枠推薦に雲南地域出身者が多く入学している。卒業後、勤務してくれれば、数年後に24～25人の医師が見込まれて何とかやれると考える。

待ち時間の改善は、最大限努力している。何とか医師を増やして皆さんの希望に応える病院となるよう努力していくので、ご理解いただきたい。（病院事業管理者）

**Q 2：市立病院の基本目標について、(2)開業医に選ばれる病院、(3)職員に選ばれる病院とは、どのような意味のことか。**

A：開業医に選ばれる病院について、病診連携は重要と考える。一次医療機関は開業医、二次医療機関は雲南市立病院のような医療機関で、三次医療機関は重篤患者の対応として県立中央病院等の医療機関となる。二次医療機関として、開業医から連携を求められることが重要であり、信頼を受け、紹介される医療体制としたい。

職員に選ばれる病院について、看護師も大変不足しているなか、ここで仕事がしたいと選んでいただける病院でありたいと考える。看護師の確保も厳しい状況。誰か知人を紹介していただきたい。（病院事業管理者）